

JAXA の吉川産学官連携部長が資料 16-2(小型副衛星の通年公募)を 10 分余りで説明し、続けて、JAXA の中村 PLANET-C プロマネが同じ資料を使って PLANET-A の概要を説明し、その後 10 分程の質疑応答があった。(GOSAT の相乗りで初めて副衛星の公募を行ったが、PLANET-C 計画で搭載余裕が出たのを契機に、副衛星を公募してリストを作り、機会が有る毎に其処から選抜して行く方式を始めた。(説明は変だったが、そう云う事らしい)此の PLANET-C は金星探査ミッションで、トランスファ軌道を 3/4 周した処で金星に向かう軌道に乗る為に 2 段エンジンの 2 回目の噴射を行う。トランスファ軌道で副衛星を放出すれば 300 km の周回軌道に乗せられるが、金星遷移軌道まで一緒に連れて行って貰えるので、若し希望する衛星が現れれば宇宙開発機関以外が上げる世界最初の人工惑星になる。なお、PLANET-C は平成 22 年度打上げを予定しているが、此の機会を逃すと数年間ウィンドウが開かない、日程厳守が必須のプロジェクトである。)

青江:あの一、さっき、打上げられない場合もあると云う事ですよ。其れ、あの、出来る限り斯う云う方、打上げたいと思っ
てられる方、ご要望に沿うようにしたら良いと思うんですけれどもね、その一、何て言うのかナァ、実は斯う決まっても
打上げる事が中止になる場合だって有りますよと、あの、例えばネエ、GOSAT みたいに何ほか決まってきましたね、もう、
それで斯う、準備はしてました。だけど急遽例えば途上国の或る国との間で話が纏まって、それで途上国が是非上

げて欲しいと云う、割合小さな衛星が登場すればですね、其れは国際協力とかそう云った色々な観点から、相乗りで
以って、こう、もう決まってる人に少しどけて下さい¹と云う風な事だ
って多分有るんだと思うんですよ。やっぱりこっちの方、或る国との間の国際協力と云いますか、国際協調と言いま
しょうか、そう云った風な事をより、まあ、先行さして下さいと、みたいな事あるんだと思うんですがね。と云う風
な事だって有るんだと云う事で、審査をし、進めておいて頂くと云いましょうかね。云う事なんじゃないかと云う気がす
るんですヨネ。タンニテクニカルな理由で重さがあればだからと云う風な事だけじゃないんじゃないかと。此れが一つな
んですヨネ。そう云う運用になるんじゃないかと。其れが一つなんですがね、もう一つは審査に当って、以前も一回申し
上げた事あるんですけど、所謂有償。お金払います、私は、言う人が居った時にですね、其れを決して軽んじないで下
さい²と。あの、学術目的、それから子供さんの夢とかね、斯

¹ 本当にそんな事をするのか。日本国民より外国人を優先する事は、余程重大な政治的理由が無ければ出来ない事だろう。

² 「今や、宇宙商業利用の時代になった。」と本気に考えて居るのか。宇宙葬の様に、極一部の物好きな金持ちを対象にする様なビジネスが始まっているだけなのではないか。宇宙太陽発電衛星の様なものが商業的に使われるようになって、初めて宇宙商業利用時代と言えるのではないか。それまでの間は、学生にシステムエンジニアリングを実体験させることなどが、小型副衛星の重要な役割なのではないか。

う云った事も大変重要、だけど、此れで以ってビジネスをしたいと云う人の、其れも重要。良いバランスを取って頂きたいと。お金儲け軽んじないで下さいと、此れだけなんです。

JAXA 吉川: 畏まりました。

松尾委員長: あの、此れ、搭載候補リストと云うのは、特定の機体に対応してる訳じゃ無いんですね。此れは一覧表として、何かオポチュニティが有ったら、こん中から引き抜きますよと、そう云う性格のもので、此方の方は、其処で例えば PLANET-A や PLANET-C と云う様な機会がありますと云ったら、其処の処に呼び掛けて、其処の中から上がって来ると、そう思ってた宜しいんですね。

JAXA 吉川: はい、そう云う、あの、

松尾委員長: そうしますと、例えばね、**其の 7 頁の**³で、5 月下旬に「PLANET-C の相乗り希望の締切り」と云うのがあって、それから搭載候補リストに登録と云う流れになってるんですが、搭載候補リストへの登録と云うのは、通年と云う意味は何時でも受け付けてるんじゃないんですか。で、受け付けてるリストが有る処に、その PLANET-C と云う機会があって、と云う事なんじゃないんですか。要するに、PLANET-C と云う機会があってね、其れに伴って何かやって来たものを候補リストに載せますと云うんでは無く、常に候補は募ってる訳であって、其れを来た処でリストが出来て、其の中で PLANET-C に必要なものって云うのを再度見て、ピクア

【議事(2)】 H- A ロケットに相乗りする小型副衛星の通年公募について

ップすると。そう云う事でしょ。

JAXA 吉川: はい、そう云う事です。

松尾委員長: そう云う事なら図はいつでも良いんですけど、一寸此れはそう読めない様な、僕は気がします。其処の表現が、矢印の向きがね。

青江: 7 頁のネ、5 月下旬の欄の、右側の欄の左側。此れ要らないんじゃないですか。言ってみりゃそう云う事。

JAXA 吉川: あ、御免なさい。正確に申し上げますとですね、

松尾委員長: あの、候補リストに登録されてるものに対してですね、其処から相乗り希望を募ると。其れについての締切りが斯うですって云うなら分ります。だから、通年公募に対してこう云うもんが有るって言うんだと分り難い。ただ実態がどうか分りましたから、書き方はどちらでも結構ですけども、あの実態が一寸分らなかった。どうぞ。

野本: 私も其の事で、通年公募してると云う事は何時でも受け付けてる訳ですけども、其れをリストに載せるかどうかと云うのは一体何時決めるんですか。公募しても其れがリストに載らなければ意味が無いと云うか、公募した方にとっては意味が無い訳ですよ。リストに載らない限り、其のリストに乗る選定と云うのを何時なさるのか、若し其れが載せる、相手になる衛星が決まった段階、決まってるので募集すると云う事なら、通年と云う風にわざわざ言わなくても良い様な気がするんですけど、其の通年にした理由って云うのは何か有るんですか。

JAXA 吉川: あの、現実と致しましてですね、**昨年度 6 機関を選**

³ 4. 今後の進め方の スケジュール案のこと。

定した後、私共も、もう何時でも、新しい衛星が来ら通年受付をしたいと云う希望を持って居りましたんですけども、作業の関係で、実の処、昨年、今年度は応募の受け付けをやって居りませんでしたって云う事が御座います。其れを今回私共の方から積極的に、何時でも受け付けますと云う状況に変えましょうと云うのが今回の通年公募と云う呼び方の主旨で御座います⁴。それで、たまたま、あの一、今回は2年後に PLANET-C が余裕が、ペイロードの余裕ができました云う事で、其れのタイミングと今回たまたま合致して居ります事で、今回通年公募と云う事をやりながら、其れの中から2年後の PLANET-C の相乗りに間に合いそうな衛星の選考も遅滞なく進めさせて頂きたいと云う考え方で御座います。此れは周波数調整の期間が有るのでどうしても5月末までには絞り込みを行いたいと云う風な事で御座います。

松尾委員長:一つは通年だと一寸ダラダラ、ダラダラと云うか間断なく若しやって行ったとしますね。毎回だから、評価をして

⁴ 何も説明していないのと同じである。後で傍聴席から JAXA の方が発言するが、8頁の図を使い、「左の箱の第3項にある「書類審査」と、右の箱の第3項にある「選考」を纏めて行うのが、7頁の「5月議準」の作業で、此の時審査に合格したものの中から PLANET-C に搭載する候補を選定するとともに、それ以降の機会に搭載される候補と共に候補リストに記載する。」とでも説明すべきであった。結局、松尾委員長が全て推測した事を発言し、吉川部長が其れを認めると云う質疑応答になってしまった。

リストに入れるんですか、それとも或る程度貯めた処でおやりになるんですかと云うのが質問の一つです。

JAXA 吉川:其のポイントは、あの一、チェックポイントを設けて置いて、其れに合致しない処はもう受け付けないと云う。

松尾委員長:どっかに今書いてあった様な気がしたんだけど。

JAXA 誰か:8頁の左の箱の一番下辺りに、「定期的に」と云う事で、年に一回か2回かやろうと云う事です。

松尾委員長:そうそう、何回かで良いでしょう。

青江:適当に溜まった処で。

JAXA 吉川:まあ、済みません。資格審査と云う意味では、ご指摘の通り、或る程度溜まって資格審査をと云う。

松尾委員長:其れでリストに入る。

JAXA 吉川:はい。

松尾委員長:其れで特定の機会が出来れば、其のリストの中から

JAXA 吉川:皆様にご案内を差し上げる。

松尾委員長:そう云う事ですね。此れね、その、結果として打上げられない場合も有ると言うんですが、リスト一寸長くなっちゃったら基本的に打上げられないんですね。少し希望を与え過ぎる行為と云う気もしないでもないかな。

JAXA 吉川:ああ、

松尾委員長:さっきハードルを高くすると仰ったから、まあ、其処で将来はける位のものをリストに載せると云うのをお考えになってるのかと思うんだけど、資格で入れてきますとね、やっぱりそう機会はしょっちゅう有る訳でもない。表現の問題なんですが、此れはどうもそうじゃなくて、候補リストの

中から、最終的に此れにしますと言った後、やっぱり何かの事情で乗れない事も有ると云う風には読めるんですけどね。どっちの意味が良く分らない。

JAXA 吉川: ああ、

松尾委員長: だから、候補リストに載ったからと云っても、乗れるとは限りませんよと云うのと、それから候補リストの中から、此の特定のものに対してピックアップされて候補になったんだけど、それでも間際になってみると乗れないと云う事が起こりますよと云う事のどちらを仰っているのかよく分らない。

JAXA 吉川: ああ、

松尾委員長: どちらも有ると思う。

JAXA 吉川: どちらも御座います。はい。

松尾委員長: ただ此れ掛けるツウ(?)とでも書いとけば、両方思っていると云うのが解るんだけど。

JAXA 吉川: どちらの場合も、

松尾委員長: まあ、一寸、あの、其れ、やっぱり受ける方に誤解が有るといけないから、其処ら辺分り易く整理してください。

JAXA 吉川: はい、了解で御座います。

松尾委員長: 宜しゅう御座いましょうか。では、宜しくお願いします。

JAXA 吉川: はい、有難う御座います。